



産業界で即戦力のものづくりのスペシャリストを養成する佐賀県立産業技術学院。



孔子の里教室では、絵てがみ・似顔絵教室や論語教室、太極拳教室などの講座を開催。市内外を問わずどなたでも受講できます。



五、まちに輝く「学び」の精神

多久市では、論語教室や英会話教室などの学習をはじめ、まんじゅうやパンづくり、父親向けの料理教室など、老若男女問わず、市民の誰もが参加でき、生涯にわたって楽しく活動できる場が充実しています。

老いも若きも「学び」は多久の市民文化

小学1年生から高齢者までの幅広い年齢層が、ミュージカルの稽古やさまざまな体験を通じて楽しく学べる多久ミュージカルカンパニー。



また、市民が主体となって企画・制作・運営する市民活動団体「たく市民大学 ゆい工房」では、新しいスタイルの生涯学習が人気を博し、まさに今なお色濃く残る「学び」の精神・文化は、生涯学習の場でも生かされています。

たく市民大学 ゆい工房

公益財団法人
孔子の里
亀川 将平さん



多久は文教の里。もっと多くの多久のみなさんに学びの場を提供したいと平成16年に開校しました。論語などの伝統学習はもちろんです。最近では「日本酒女子会」や「論語100問検定」の実施など新しい生涯学習のスタイルも提案しています。



花や土の性質など、ガーデニングの基礎知識を学び、素敵な寄せ植えをつくります。つくった作品は持ち帰ることができます。



300年前から地元で愛されてきた岸川まんじゅう。麴を発酵させてつくる懐かしい素朴な味わいが特徴です。



▲タブレットパソコンを活用した授業研究会

そして今、 「文教の里」は 新たな魅力となり 全国へー



▲論語100問検定

多久市では、学力の向上につながる論語を楽しみながら親しめるよう、論語カルタや論語検定などを取り入れ、礼儀正しさや思いやりのこころを育てています。観光地である多久聖廟を地元の小中学生が案内するジュニアガイドなど、取り組みが行われています。



▲孔子の里
ジュニアガイド



ICT教育なども、「文教の里」の新たな魅力として全国へ発信しています。

さらに、平成25年度からは小中一貫校が開校し、伝統を生かした教育や地域の豊かな産業にふれる農業体験、新たに設定した「多久学」の学習、全教室に配備した電子黒板でのICT教育なども、「文教の里」の新たな魅力として全国へ発信しています。

六、「学び」で広がる、 新たな魅力



全国ふるさと漢詩コンテスト

平成10年度より、儒学と文化の里づくりとして漢詩を募集し、全日本漢詩連盟会長の石川愨久先生をお招きして「ふるさと漢詩コンテスト」を開催しています。毎年全国各地から多くの募集があり、最優秀作品は石碑に漢詩を記した漢詩碑が建立されます。



▲詳細はこちらから